

高等学校グランドデザイン会議 第2 専門委員会 検討の進捗状況（概要）

平成18年11月末現在

2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

学科コース等の今後の方向性

(ア) 各学科・コース及び系列の検証

【普通科及び普通科に併設される専門学科】

普通高校においては、進学率が向上する一方、進路意識や職業観の育成、さらに、挨拶、協調性など人間性、社会性の育成が求められている。

また、普通科に併設されている専門学科のうち、定員に満たない学科については、中学校段階で特化した学科を選びきれないなど、生徒及び保護者の進路意識にそぐわないといった課題がある。

【職業学科（職業教育を主とする専門学科）】

これまで専門高校の学科・コースについては、専門化・細分化してき、産業構造が変化する中で、学科の内容とその将来性が生徒・保護者に十分理解されていない。また、企業は、専門高校に対し高度な技術・技能ではなく、高校における学習内容をしっかり学び、職業人・社会人としての基礎・基本を身に付けた人材を求めている。

さらに、近年の大学等進学者の増加に伴い、将来のスペシャリストの養成に向けた進学指導も重要となっている。

【総合学科】

進路意識の低い生徒にとって、「産業社会と人間」の学習やインターンシップ等の体験を通じて、自分の将来や生き方について考えさせることができるなど優れた仕組みである。総合学科の理念・特徴である多様な選択科目を設定するためには、施設・設備や教員数の充実が課題となっている。

(イ) これまで設置した学科・コースの今後の在り方

【高校全体】

現在ある学科の統合・再編成により、教育課程を編成し直し、入学後も多様な進路希望に柔軟に対応できるようにするのが望ましい。また、職業観、勤労観を育成するキャリア教育の充実を図る必要がある。

【普通科及び普通科に併設される専門学科】

全日制普通高校で学年1学級だけ設置されていて定員割れしている学科は、中学生、保護者のニーズにそぐわなくなっており、廃止を含めて見直しをする必要がある。

一方、これらの学科を廃止し、普通科のコース制として存続させるのではなく、学科として特色を出させるような工夫も必要ではないか。

【専門高校における職業学科（職業教育を主とする学科）】

専門化・細分化してきた学科を基礎・基本重視の観点で統合・再編する必要がある。

【総合学科】

次回以降協議

(ウ) 普通科における全日制単位制の在り方

第2次実施計画により設置された学校の実績の検証・評価を踏まえて、今後の方向性を検討する。

(エ) 新しい学科等の設置の必要性

基礎・基本が重視されていることから、新しい学科の設置は行わず、既存の学科の統合・再編を行い、教育課程の充実を図ることが必要である。地域性に応じた新しい学科の設置や進学対応の学科の設置があっても良い。

(オ) 統廃合による、新しいタイプの高校の可能性

異なる分野の専門高校の統合は、他県に事例もあり、生産、経営、流通・設備等、総合的に産業を学習できるなど、新しい視点による教育の可能性が期待できる。統合する場合は、新しい校舎の建設が理想であり、既存の施設を流用し、教員や生徒が移動する方法は学校運営上の課題が多い。また、普通高校と専門高校の統合については、教育課程の編成上難しい。

(カ) 専門学科の募集方法

専門高校において、学科の専門性を理解していない生徒や入学後の興味・関心に応じた進路指導を行う上で「くくり募集」は効果的である。実施にあたっては、学科定員と希望人数の差が大きい場合の調整や選択希望が叶わなかった生徒への配慮が必要である。

3 県立高等学校と中学校や大学等との連携の在り方

以下、次回以降協議予定

学校間連携の今後の方向性

(ア) 中高一貫教育を含めた中高連携の在り方

(イ) 高大連携の在り方